



子育て中のHAPPYな“つぶやき”で“つぶや木”が完成！ 「遊びのひろば」練馬の児童館展を開催！

と き 1月23日(土)・24日(日)

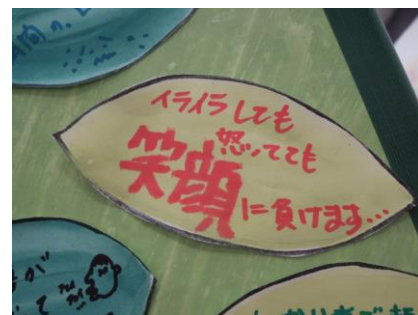
と ころ 練馬区立美術館（貫井1-36-16） 交通：西武池袋線 中村橋駅下車 徒歩3分

23日から、練馬区立美術館（貫井1丁目）で「練馬の児童館展」が開催された。

同展は、地域の「子育て・子育て支援」施設である児童館を広くPRし、理解を深めてもらうことを目的に開催。

今年のテーマは「あそぼう！ みんなの児童館」。新たな試みとして、区立児童館18館（厚生文化会館児童室を含む）の事業などを6つブースで紹介した。

参加型の展示の“つぶや木”を見た子育て中のお母さんは「イライラしたり、怒ったりしてしまうけど、子どもから力をもらっている。他のお母さん方も同じ思いだったことを知り、これからも子育てを楽しもう」と話してくれた。



【つぶや木に貼られたメッセージ】

【児童館展】

「練馬の児童館展」は、昭和52(1977)年から、「児童館合同作品展」として開催してきたものを、平成10年に会場を練馬区立美術館に移し、「練馬の児童館展」としてリニューアル、毎年1月に開催している。通算すると、今回が40回目となる。毎年約6,000人以上が同展に訪れる。

【児童館展のみどころ】

■ 見どころ①

参加型の展示が「練馬の児童館展」の特徴である。【乳幼児事業】ブースでは、◆子育て応援プロジェクト in 児童館◆を実施。来場者が葉型の用紙に子育てをしている中で感じた「こんな時、幸せを感じる♪」などのHAPPYな“つぶやき”を書き、木を模したボードに貼り、大きな「つぶや木」を完成させた。葉っぱのつぶやきには、子育て中に実感した日常の一コマや本音が書かれ、「つぶや木」に共感したり、微笑んだりする参加者も多かった。

また、葉型の用紙やボードは、広報キャンペーン「よりどりみどり練馬」で制作された5色の絵の具“NERIMA GREEN(ねりまグリーン)”を活用し、制作した。

その他、【おもしろ・かんたん工作】【いろいろなおもちゃであそんでみよう】のブースでは、サンバイザーや紙コップのヨーヨーづくりを体験することができ、子どもたちが楽しそうに遊んでいる姿が見られた。

■ 見どころ②

今年の「練馬の児童館展」は、新たな試みとして、事業を紹介する【児童館と地域のつながり】【乳幼児事業】【児童向け事業】【中高生の居場所づくり事業】と遊んだり体験ができる【おもしろ・かんたん工作】【色んなおもちゃで遊んでみよう】の合計6つブースを展開した。



【真剣な表情で工作を体験している様子】

【問い合わせ】 こども家庭部 子育て支援課 子ども育成係 電話03-5984-5827